

1 安全で魅力のあるまちづくり

◆都市計画

●将来にわたる計画的な都市づくりを進めていくため、都市計画のあるべき姿とその実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定に今年度から着手し、市民の意見を十分に反映させながら、平成21年度中の策定を目指します。

◆市道の整備

●市民生活に直接関連する市道および排水路の整備は、地域のバランスを考慮しながら計画的に進めます。

●旭中央病院アクセス道は、用地交渉を行いながら事業を進めており、東西線は、平成18年度に着工した国道126号飯岡バイパス側からの工事に加え、今年度は中央病院側からも工事に着手します。また、南北線は、JR線をまたぐ橋梁の詳細設計

等を行います。

●1級2号線長部地先の歩道整備事業は、残りの区間のうち約200メートルを施工するとともに、未整備区間の用地交渉を進め、早期完成を目指します。



▲旭中央病院アクセス道（東西線）

●1級5号線の米込地先の道路整備は、用地買収が済んだ約700メートルの工事に着手します。

●飯岡バイパスと主要地方道銚子旭線を結ぶ飯岡海上連絡道路整備事業は、国の補助事業採択を受けるため、費用対効果資料を作成します。

●防衛施設周辺民生安定事業は、塙新町から横根地区に至る約700メートルの道路改良工事を行うとともに、継続して整備を進めるため、塙新町集落内の測量および物件補償等の調査を行います。

◆街路事業

●旭駅前線は、関係地権者の協力により計画面積の約65パーセントの用地を取得しました。今年度は、引き続き電線共同溝の工事を行い、駅前地域としての都市環境の整備を図ります。

●谷丁場遊正線は、事業用地の約34パーセントを取得しており、今後も、関係地権者へ理解と協力をお願いし、

早期の工事着手を目指します。

◆消防

●消防本部は、ディーゼル車排ガス規制の運行期限を迎える本署の救助工作車と積載する救助資機材および干潟分署のタンク車を更新することにも、高度の応急処置の必要性が高まっていることから、引き続き救命士の育成強化を進めます。

●消防水利の確保と充実強化のため、耐震性の防火水槽を海上中学校、干潟公民館および新町の消防庫跡地に

設置します。

●消防団は、海上方面隊のタンク車1台、小型ポンプ積載車2台および飯岡方面隊の小型ポンプ積載車2台を更新します。

◆防災計画

●防災計画は、旧一市三町の防災計画を基本として、近年の国内における大規模災害の教訓を踏まえ、地域の特性等を十分反映させながら、今年度の早い時期に策定します。

2 快適でうるおいのあるまちづくり

◆広域ごみ処理事業

●広域での一般廃棄物処理施設の建設については、東総地域ごみ処理広域化推進協議会における候補地選定の中で、最終的にクリーンセンター

の新川西岸にあたる遊正地区が処理区域の中心に近く交通アクセスが良いため、隣接して都市計画道路が整備される予定であることなどから最も有力候補地として選定され、地権者と周辺住民の方々への事業説明を行ってききました。今後も、詳細な説明と意見交換を重ねながら、地域住民の方々のご理解とご協力を得る中、環境アセスメント等の調査を進めていきます。

◆水道事業

●水道事業基本計画に基づき、給水区域内の施設の一体化、水質・圧力改善および未給水地区の解消を図る

ための配水管布設工事等を行い、安定給水の確保と普及率の向上に努めます。

◆下水道事業

●公共下水道は、3月末に、イ・ロ地区の4・2ヘクタールを供用開始し、145・9ヘクタールの区域で、使用が可能となりました。これで、事業認可区域202ヘクタールのうち、約72パーセントが整備されました。今年度は、引き続きイ・ロ地区7・8ヘクタールの面整備工事を行います。また、将来的に供用開始区域の拡大等による汚水流入量の増加が見込まれるため、中継ポンプ場および浄化センターの水処理施設等の建設に向け実施設計を行うとともに、平成7年の兵庫県南部地震、平成16年の新潟県中越地震等を踏まえて、浄化センターと重要な幹線管路等の

耐震診断を行います。

◆排水路の整備

●椎名団地周辺の排水対策として整備する排水路については、下流部の十日市場側から工事を進めており、継続して約500メートルを施工します。

◆都市公園事業

●袋公園は、昨年度に引き続き、じゃぶじゃぶ池を利用した遊戯施設と修景施設の整備を行います。また、老朽化により傾いてきた、ため池西側の護岸の改修工事を行い、市民が安心して利用し、憩える公園として整備します。

●文化の杜公園は、イベント、スポーツなど多目的に利用でき、災害時にも対応できる防災機能を持った総合公園として整備するため、用地買収を進めるとともに、一部の造成工事を実施します。

◆あさひ健康パーク整備事業

●パークゴルフ場は、平成20年度の



▲整備が進むパークゴルフ場

オーブンに向けて植栽、管理施設、トイレ等の整備を進めます。また、オープン後の大会使用や運営に資するため、国際パークゴルフ協会の公認取得を目指すとともに、パークゴルフ競技者の育成と市民の健康増進に努めます。

②快適でうおいのあるまちづくり

(主要事業)

(千円)

環境衛生対策推進事業	49,241
環境美化推進事業	5,100
不法投棄防止活動事業	11,355
農地・水・環境保全向上対策支援事業	6,258
塵芥処理施設運営費	575,633
合併処理浄化槽設置促進事業	50,631
排水路整備事業	75,000
袋公園整備事業	75,826
文化の杜公園整備事業	248,396
あさひ健康パーク整備事業	273,579
中央児童遊園SL改修事業	7,555
市営住宅改修事業	45,436
住宅・建築物耐震化促進事業	14,750



▲基本健康診査

●予防接種会場と母子保健事業会場を集約再編して2年目に入る今年度は、受診率の向上と併せて、生活習慣病の予防を重点とした保健指導をさらに充実させます。

●乳幼児医療費助成事業は、保護者の経済的負担をさらに軽減するため、支援の充実を検討します。

●東総地域の医療体制の確立を目指すため、昨年度に設立した東総地域医療連携協議会での検討を踏まえ、地域における医師不足の解消と各病院間の連携や機能分担による効率的な医療体制の構築を図ります。

◆児童福祉

●ひとり親家庭への支援策として、国の方針が児童扶養手当中心の支援から就業・自立に向けた総合的な支援へと転換しつつあることから、新

3 健やかでやすらぎのあるまちづくり

③健やかでやすらぎのあるまちづくり

(主要事業)

(千円)

基本健康診査事業	112,322
がん検診事業	67,564
感染症予防対策事業	31,324
乳幼児健康診査事業	20,799
乳幼児医療費助成事業	66,211
千葉県後期高齢者医療広域連合負担金	14,065
児童扶養手当給付事業	252,720
児童手当給付事業	503,601
保育所運営費	727,242
延長保育促進事業	2,720
私立保育所保育対策等促進事業	13,773
私立保育所すこやか保育支援事業	18,356
放課後児童健全育成事業	66,090
シルバー人材センター助成事業	14,000
地域包括支援センター運営事業	7,057
地域生活支援事業	39,266
自立支援給付事業	476,394
生活保護扶助費	437,554
旭市社会福祉協議会助成事業	43,425
あさひ健康福祉センター運営事業	17,403
旭市福祉協会助成事業	16,042
飯岡福祉センター運営事業	11,182

◆病院事業

●旭中央病院は、基幹病院としての機能をさらに強化するため、今年度は病棟再整備計画を推進するとともに、看護師の確保策の一環として、附属看護学校の定員増加に伴う改修工事や看護師宿舎の新築工事を行います。

ます。

◆高齢者福祉

●市直営で4月から設置する地域包括支援センターは、社会福祉士等の専門職員を配置し、要支援1、要支援2と認定された方や特定高齢者への介護予防ケアマネジメント、総合相談、虐待防止、権利擁護等の業務を実施するほか、地域全体で支援していくネットワークづくりなどに取り組み、それぞれの職員の専門性を生かしつつ、充実したセンターの運営を図ります。

たに母子家庭自立支援教育訓練費等の自己負担金の一部を助成します。

●虐待を受けている子どもをはじめとする要保護児童の早期発見や適切な保護を行うためには、関係機関がその子ども等に関する情報や考え方を共有し、適切な連携の下で対応していくことが重要であり、要保護児童対策地域協議会における連携を強化し、虐待などの未然防止に努めます。